

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	52	
部 局 名	市民部	所 属 名
事務事業名	00766 市展・文化祭・写真展等事業	所 属 長
		記 入 者
		藤川 義則
		中嶋 純子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	文化芸術振興基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	第2次大津市文化振興ビジョン、第2次大津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	特定	評価対象事業	市展・文化祭・写真展等事業費	
事業の概要	市民が自主的に展開している文化活動の成果を発表・鑑賞し相互に交流を深め、市民文化の向上を図るため、美術展覧会及び写真展覧会を開催している。また、各学区の文化団体や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対して補助を行っている。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民が自主的に展開している文化活動の成果を発表及び鑑賞する場を提供するとともに、市民の主体的な文化活動を支援するため
対象 (何又は誰を)	市展・写真展：県内に在住、在勤、通学する高校生以上の者 文化祭：学区文化協会及び芸術文化団体を対象に
手段 (どのようなやり方で)	市展・写真展：公募により作品募集を行い、入選作品を展示するとともに、優れた作品に対し、賞を授与し 文化祭：地域や芸術文化団体が自主的に開催する文化祭に対し補助金を交付し
成果 (どのような状態にするのか)	より多くの市民に文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、文化芸術への関心を高めるとともに、市民の主体的な文化活動の活性化を図る。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		6,705	6,588	6,585	6,829	6,829	
人件費 B		6,768	6,956	6,998	7,627	7,627	
事業費合計 A+B		13,473	13,544	13,583	14,456	14,456	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	6,705	6,588	0	0	0	地域振興基金
	一般財源	6,768	6,956	13,583	14,456	14,456	
職員数(人)		1.44	1.46	1.46	1.36	1.36	
職員数の内訳	正規	0.64	0.66	0.66	0.66	0.66	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.80	0.80	0.80	0.70	0.70	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	募集要項・ポスター配布数	枚	目標	17,300	14,700	12,850	7,400	11,700
				実績	17,300	14,700	11,700	-	-
活動指標	2	補助金交付団体数	団体	目標	56	56	56	15	56
				実績	49	47	47	-	-
		文化祭開催に対する補助金交付団体数(文化祭実行委員会、芸術団体、地域文化団体)							
成果指標	1	出品数	点	目標	4,500	4,500	4,500	3,800	4,500
				実績	5,350	5,114	4,250	-	-
		市展・写真展・文化祭(短歌・俳句大会、湖都の文学)への出品数							
成果指標	2	入場者数	人	目標	5,000	5,000	5,000	2,000	5,000
				実績	3,374	3,086	3,194	-	-
		市展・写真展・文化祭への入場者数(令和2年度以降は学区・芸術団体の文化祭を含む)							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	美術展、写真展の出品や文化祭への参加は高齢者が多い。自治会の負担軽減のため、平成31年度からポスター配布を取り止めた。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成30年度に美術展や写真展にU-30奨励賞を新設、令和元年度は出品申込書をホームページに掲載するなど若年層の参加促進を図った。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	大津市文化祭、美術展・写真展は市民・事業者・市の三者協働による実行委員会形式で運営しており、実施主体等は妥当である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	短歌・俳句大会（児童・生徒の部）の出品数は減少したが、美術展、写真展の出品数並びに入場者数は増加した。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	実行委員会方式で実施される当事業の経理基盤を支えるため、最小の経費の支出に抑えるとともに効率的な運営に努めた。
総合評価	<input type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市民の主體的な文化活動へ支援を行い、日頃の活動成果を発表する場を提供することは、「市民による文化・芸術の振興」に寄与している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	<p>今後も、より多くの市民に文化活動の成果を発表・鑑賞する場を提供し、文化芸術への関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動の活性化を図っていく。また、自治会掲示板に代わる効果的な広報周知（自治会メール配信等）の方法を検討する。</p>
部局長コメント	美術展・写真展は、実行委員会による運営、連続開催、若年層向けの賞の新設など、効率的な手法や参加促進のための方策を取り入れてきた。引き続き、より多くの市民が文化に親しめる場を提供できるよう、新たな取組みなどについて実行委員会で検討し事業の推進に努められたい。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	118.88 %	113.64 %	94.44 %
	指標2	67.48 %	61.72 %	63.88 %
成果増減率	指標1	- %	-4.41 %	-16.89 %
	指標2	- %	-8.53 %	+3.49 %
活動単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	1 千円
	指標2	274 千円	288 千円	289 千円
成果単位コスト	指標1	2 千円	2 千円	3 千円
	指標2	3 千円	4 千円	4 千円
コスト増減率		- %	+8.95 %	+1.65 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	53				
部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課	所 属 長	藤川 義則
事務事業名	00767	花登筐文芸奨励事業	記 入 者	中嶋 純子	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称		根 拠 法令等	文化芸術振興基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		関連する個別計画	第2次大津市文化振興ビジョン、第2次大津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり			
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流			
重事	01	市民による文化・芸術の振興				
関連事業	コード	事務事業名称			コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期	
	一般会計	管理	評価対象事業	花登筐文芸奨励事業費		
事業の概要	本市出身の劇作家「花登筐」氏の業績を顕彰し、青少年の文芸活動を奨励するため、文芸作品を募集し、優秀作品を表彰すると共に優秀作品集を発刊する。(昭和61年から実施) 平成25年度より文芸奨励基金の原資を取り崩して事業を実施している。					
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()					

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	青少年の文芸活動を奨励するため
対象 (何又は誰を)	市内に在住又は在学している小学生(4~6年生)、中学生、高校生を対象に
手段 (どのようなやり方で)	広報おおつへの掲載や各学校の夏季休暇の課題等協力依頼により、作文、随筆、演劇シナリオ、小説の別に作品を募集し、優秀作品を表彰するとともに、優秀作品集を発刊することにより
成果 (どのような状態にするのか)	青少年の文芸に対する親しみを深め、創作意欲を高めて文化振興への若い息吹きを育てていく。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		266	255	247	277	277	
人件費 B		632	636	636	823	823	
事業費合計 A+B		898	891	883	1,100	1,100	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	266	255	247	277	128	
	一般財源	632	636	636	823	972	
職員数(人)		0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	
職員数の内訳	正規	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	作品募集依頼学校数	校	目標	71	71	71	71	71
				実績	71	71	71	-	-
	市内小・中・高等学校数								
	2	作品募集対象児童・生徒数	人	目標	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
実績				30,982	30,125	30,257	-	-	
市内小学校(4~6年生)児童数、中・高等学校生徒数									
成果指標	1	作品応募数	点	目標	350	350	350	350	350
				実績	435	291	196	-	-
	応募のあった作品数								
	2	作品応募率	%	目標	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
実績				1.4	1	0.6	-	-	
応募作品数/市内の小(4~6年)・中・高の児童生徒数×100									

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	54	部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課	所 属 長	藤川 義則
事務事業名	00772 スカイプラザ浜大津管理運営事業	記 入 者	中嶋 純子				

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市スカイプラザ浜大津条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する個別計画	第2次天津市文化振興ビジョン、第2次天津市文化振興計画
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			

関連事業	コード	事 務 事 業 名 称	コード	所 属 名 称

予算事業	会 計	枠	事 業 種 別	予 算 事 業 名	始 期 ・ 終 期
	一般会計	管理	評価対象事業	スカイプラザ浜大津管理運営事業費	

事業の概要
音楽・演劇その他市民の文化芸術活動の練習、発表の場となる拠点施設として、市民にとって利用しやすい施設の管理運営を行う。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	音楽や演劇を通して行われる市民の文化芸術活動の振興を図り、市民に親しみやすい文化活動の拠点となるため
対象 (何又は誰を)	利用者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	幅広い分野の展示・発表・鑑賞の場となる事業を実施するとともに、気軽に参加できる学びの場を提供することで市民の文化芸術活動の拠点としての機能を充実させ、市民の多彩な文化活動を支援する。
成果 (どのような状態にするのか)	利用者が増加し、市民の交流の促進が図られ、幅広い世代の市民に親しまれる施設となる。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		28,359	29,378	27,223	17,536	17,474	平成19年度指定管理者制度開始
人件費 B		902	902	913	913	913	
事業費合計 A+B		29,261	30,280	28,136	18,449	18,387	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	29,261	30,280	28,136	18,449	18,387	
職員数(人)		0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	
職員数の内訳	正規	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	利用日数	日	目標	302	302	302	261	302
				実績	304	307	310	-	-
	2	自主事業開催数	回	目標	22	22	22	18	19
				実績	34	17	19	-	-
		自主事業開催数(共催も含む)							
成果指標	1	スタジオ等利用件数	件	目標	7,200	7,200	7,200	6,300	7,400
				実績	6,993	7,141	7,516	-	-
	2	自主事業参加者数	人	目標	5,000	5,000	5,000	2,000	3,000
				実績	3,282	2,692	1,811	-	-
		事業参加者数							

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	音楽、演劇など市民の文化芸術活動の拠点施設として気軽に利用できるため、年々、ニーズは高まっている。令和元年度末は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため自主事業の一部が中止となった。	
これまでの見直しや改善等の経過	可能な限り利用者の要望に対応できるよう工夫することや、回遊型コラボレーション事業、びわ湖大津秋の音楽祭への参画を指定管理者に求めた。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市が実施主体であることで、低廉な価格で幅広い世代に利用され、活発に文化活動が行われている。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	自主事業の精査を行った結果、自主事業参加者数は減少した。しかしながら、全体の利用者は依然として多く、スタジオ等利用件数は昨年度を上回っている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者の民間ノウハウを活用した事業を展開するとともに経費の縮減に努めている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	多様な文化活動の場、人と人との交流の場として、文化振興に寄与するとともに、近隣商店街との連携事業は中心市街地の活性化にも繋がっており、総合計画に掲げる「文化・芸術に親しめる環境づくり」に大きく貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
部局長コメント	<p>今後も、自主事業の充実、利用者の増加や市民の交流の促進が図られ、幅広い世代の市民に親しまれる施設となるよう指定管理者と協議し指導していく。</p> <p>指定管理者の民間ノウハウを活かした効率的な運営により、高い水準の稼働率を維持し、より多くの市民が気軽に親しめる文化活動の拠点となっている。引き続き、文化施設や街なかを回遊する施策など魅力ある事業を検討、実施し、市民の文化交流が促進されるよう努められたい。</p>

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標 1	97.12 %	99.18 %	104.38 %
	指標 2	65.64 %	53.84 %	36.22 %
成果増減率	指標 1	- %	+2.11 %	+5.25 %
	指標 2	- %	-17.97 %	-32.72 %
活動単位コスト	指標 1	96 千円	98 千円	90 千円
	指標 2	860 千円	1,781 千円	1,480 千円
成果単位コスト	指標 1	4 千円	4 千円	3 千円
	指標 2	8 千円	11 千円	15 千円
コスト増減率		- %	+3.81 %	-6.72 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	55				
部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課	所 属 長	藤川 義則
事務事業名	00776 大津市民会館管理事業	記 入 者	中嶋 純子		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	大津市民会館条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	第2次大津市文化振興ビジョン、第2次大津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	市民会館管理運営事業費	
事業の概要	引き続き指定管理者のノウハウを活用した適正な運営に努めるとともに、市民主体の文化芸術活動を促進し、文化芸術に触れる場と機会の提供を目的とする。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民の文化・教養の向上と福祉の増進を図るため
対象 (何又は誰を)	市内外を問わない施設利用者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	効果的、効率的な自主事業の展開および、会館内の施設・設備の適切な管理運営を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	多くの市民や文化・芸術団体の利用促進を図るとともに、芸術性の高い発表・鑑賞の場を提供し、文化情報発信及び文化交流の拠点となる。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		57,551	58,561	59,340	57,329	57,329	平成20年指定管理者制度開始
人件費 B		1,230	1,230	1,245	1,660	1,660	
事業費合計 A+B		58,781	59,791	60,585	58,989	58,989	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	58,781	59,791	60,585	58,989	58,989	
職員数(人)		0.15	0.15	0.15	0.20	0.20	
職員数の内訳	正規	0.15	0.15	0.15	0.20	0.20	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	利用件数	件	目標	300	300	300	250	330
				実績	276	291	327	-	-
	大・小ホールの利用件数								
2	来場者数		人	目標	117,000	117,000	117,000	102,000	117,000
				実績	124,768	93,404	109,415	-	-
	大・小ホールの催しに来場した人数								
成果指標	1	会館利用率	%	目標	48	48	48	48	50
				実績	47.1	61.3	67.7	-	-
	大ホール利用件数÷大ホール貸館可能日数(点検、改修工事時は除く)×100								
2	来場者前年比		%	目標	100	100	100	93.2	100
				実績	113.2	74.9	117.1	-	-
今年度来場者数÷前年度来場者×100									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民の価値観が多様化する中、市民による主体的な文化芸術活動の発表の場や、ニーズに応じた文化芸術が鑑賞できる場が必要である。		
これまでの見直しや改善等の経過	利用者アンケートの結果、舞台スタッフの対応に不満の声があったため、改善を指示した。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市が実施主体であることで、低廉な価格で幅広い世代に利用され、活発に文化活動が行われている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	近隣施設との役割のすみ分けを意識し幅広いジャンル・年齢層を対象とした事業を実施している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	指定管理者の民間ノウハウを活用するとともに経費の縮減に努めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市民の幅広いジャンルの文化芸術を発表・鑑賞できる場を提供しており、本市の文化振興の拠点として、総合計画に掲げる「文化・芸術に親しめる環境づくり」に貢献している。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	<p>今後も多くの市民や文化・芸術団体の利用促進を図るとともに、芸術性の高い発表・鑑賞の場を提供し、文化情報発信及び文化交流の拠点となるよう指定管理者と協議し指導していく。また、老朽化による多額の維持管理費がかかるため、施設の方向性を検討するとともに、令和2年度は、施設の設置目的を発揮できる指定管理者の選定に努める。</p>
部局長コメント	指定管理者の民間ノウハウを活かした効率的な施設運営を図るとともに、第2次文化振興計画に掲げる回遊型コラボレーション事業の実施にも取り組まれた。引き続き、文化芸術の拠点施設として、市民の文化・教養の向上のため、魅力ある事業の展開に努められたい。また、老朽化による維持管理経費がかかるため、施設の方向性を検討すること。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	98.12 %	127.70 %	141.04 %
	指標2	113.20 %	74.90 %	117.10 %
成果増減率	指標1	- %	+30.14 %	+10.44 %
	指標2	- %	-33.83 %	+56.34 %
活動単位コスト	指標1	212 千円	205 千円	185 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	1,248 千円	975 千円	894 千円
	指標2	519 千円	798 千円	517 千円
コスト増減率		- %	+8.38 %	-19.02 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	56	部 局 名	市民部	所 属 名	文化・青少年課	所 属 長	藤川 義則
事務事業名	00778 文化振興事業	記 入 者	中嶋 純子				

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	文化芸術振興基本法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		第2次大津市文化振興ビジョン 第2次大津市文化振興計画
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	文化振興事業費	
事業の概要	「大津市文化振興計画」に基づき、湖都文化の総合的な文化振興の施策を推進するため、身近な文化の創造の場をつくり、誰もが参加しやすい機会を設けることにより、人と人との交流を生み、地域の活性化に大きな役割を果たすよう努める。また、市民が自主的に展開している文化活動への支援として、文化連盟などの団体に対する補助金の交付や、申請に基づく後援名義の承認等を行っている。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	市民が自主的に展開している文化活動を支援するために
対象 (何又は誰を)	団体及び市民等を対象に
手段 (どのようなやり方で)	文化連盟等の文化活動に対して補助金等を交付するとともに、文化の催しに対する後援名義の使用承認や賞の交付を行い
成果 (どのような状態にするのか)	自主的な文化活動の促進、充実を図る。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,633	2,118	2,414	2,236	5,540	
人件費 B		5,709	6,227	6,256	6,513	6,513	
事業費合計 A+B		8,342	8,345	8,670	8,749	12,053	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	1	341	601	1	1	雑入、湖都大津まちづくり寄附金
	一般財源	8,341	8,004	8,069	8,748	12,052	
職員数(人)		1.38	1.44	1.44	1.27	1.27	
職員数の内訳	正規	0.49	0.55	0.55	0.50	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.89	0.89	0.89	0.77	0.77	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	共催・補助事業数	事業	目標	6	6	6	4	6
				実績	6	6	6	-	-
	文化活動等に対する共催・補助事業数								
	2	後援名義使用承認及び賞交付件数	件	目標	175	175	175	120	150
実績				149	156	132	-	-	
後援名義の使用承認数(及び賞を交付した件数)									
成果指標	1	共催・補助した文化活動(催し等)への参加者数	人	目標	35,000	35,000	35,000	19,000	25,000
				実績	31,574	43,857	38,157	-	-
	補助した団体等が行っている文化活動(催し等)の参加者数								
	2	後援した文化・芸術事業への参加者数	人	目標	172,000	172,000	172,000	40,000	85,000
実績				159,207	126,767	82,293	-	-	
後援名義の使用を承認した催し等の入場者数									

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	58				
部局名	市民部	所属名	市民文化会館	所属長	田中 鉄也
事務事業名	00773	市民文化会館管理運営事業	記入者	木津 勝	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名称	根拠法令等	市民文化会館の設置及び管理に関する条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	大津市文化振興ビジョン 大津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	市民文化会館管理運営事業費	

事業の概要
市民が低料金で安全かつ快適に文化活動ができるよう、施設の管理運営等を行っている。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市民に文化活動の場を提供する一方で、生涯学習の活動にも寄与する。
対象 (何又は誰を)	市民一般及び各種文化団体・サークル等
手段 (どのようなやり方で)	低料金で安全かつ快適に文化活動ができるよう、施設の管理を行う。
成果 (どのような状態にするのか)	市民の文化の拠点施設として、市民を中心とした文化振興活動がより活発となるよう推進する。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備考
直接経費 A		9,625	8,951	8,826	8,897	8,897	
人件費 B		10,755	9,191	9,716	11,201	11,201	
事業費合計 A+B		20,380	18,142	18,542	20,098	20,098	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	5,054	4,601	3,691	4,673	4,673	
	一般財源	15,326	13,541	14,851	15,425	15,425	
職員数(人)		2.78	2.72	2.78	2.78	2.78	
職員数の内訳	正規	0.51	0.45	0.51	0.51	0.51	
	嘱託	2.00	1.00	1.00	0.00	0.00	
	臨時	0.27	1.27	1.27	2.27	2.27	

< 4. 指標 > DO

		指標名	単位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	貸室利用件数	件数	目標	900	900	900	700	1,000
				実績	793	806	1,057	-	-
多目的ホール・会議室・和室の年間利用件数(Ｈ31から延べ件数とする)									
成果指標	1	貸室利用件数目標達成率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	88	90	117	-	-
貸室利用件数(実績)÷貸室利用件数(目標)									
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民団体の芸術文化活動（ダンス・書道・絵画等）をはじめ、市民の自発的活動は活発であり、文化会館の高い稼働率がそれを物語っている。また、市の公的な会議の会場としても利用されている。		
これまでの見直しや改善等の経過	平成30年度から新電力に変更するなど、光熱水費の削減に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	ダンスや書道・絵画・音楽など市民の多様な文化活動を支え、市役所に近いことから行政の会議にも適当な場所として利用されており、市が主体的に運営することは妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	多目的ホールは高い稼働率を維持しており、施設の有効性を示している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	会計年度任用職員2名で日常の運営を行ない、新電力の導入や施設修繕を進め、安心して利用できる環境を整えるように努めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	市民の自発的な文化活動を支えるとともに、行政の会議にも利用されており、行政の情報発信の場としても貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民の活発な文化活動を支える場として、また市役所に近いことから、公的会議の場として有効な施設である。今後もより利用しやすい環境を維持し、さまざまな活動に貢献できるように努める。
部局長コメント	多目的ホールを中心に、稼働率は安定しており、市民の多様な文化活動を支える施設として定着している。特にダンスなどの活動では、市民の健康維持にもつながっている。また、令和2年7月からレストランがリニューアルしており、今後も幅広い世代の様々な活動の場となるよう、施設の維持及び運営管理に努める。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	88.00 %	90.00 %	117.00 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	+2.27 %	+30.00 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	25 千円	22 千円	17 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	231 千円	201 千円	158 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-12.95 %	-21.38 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	59				
部 局 名	市民部	所 属 名	長等創作展示館	所 属 長	藤川 義則
事務事業名	00771	長等創作展示館維持管理運営事業	記 入 者	西辻 崇志	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市創作展示館条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	天津市文化振興ビジョン 天津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	01	市民による文化・芸術の振興			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	長等創作展示館管理運営事業費	
事業の概要	長等の豊かな自然と歴史文化の中で美術工芸品等を鑑賞及び創作する場を提供し、市民の文化向上及び発展に寄与するため、創作展示館として運営する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	全ての市民が主体的に文化に触れ、学び、創作する場と機会を提供し、湖都文化の発展に寄与するため。
対象 (何又は誰を)	市民等来館者
手段 (どのようなやり方で)	経費の掛かる主催講座を中止し、創作スペースをより多くの市民に利用できるようにする。
成果 (どのような状態にするのか)	多くの市民に鑑賞及び創作する場と機会を提供し、心豊かで潤いのある市民生活や、個性豊かで活力あふれる地域社会を創造する。

< 3. 経費 > DO

	平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A	7,835	4,953	3,141	2,888	3,046	
人件費 B	24,230	24,080	21,240	25,018	25,018	
事業費合計 A+B	32,065	29,033	24,381	27,906	28,064	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	
	その他	3,318	3,380	2,051	1,485	1,485
	一般財源	28,747	25,653	22,330	26,421	26,579
職員数(人)	5.00	5.00	5.00	4.81	4.81	
職員数の内訳	正規	3.00	3.00	2.00	3.05	3.05
	嘱託	1.00	1.00	2.00	0.00	0.00
	臨時	1.00	1.00	1.00	1.76	1.76

< 4. 指標 > DO

	指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1 特別展等開催数(展示替数)	回	目標	3	3	3	3	3
			実績	3	3	3	-	-
2	常設展示室での特別展開催数もしくは展示物の変更回数	件	目標	50	50	150	120	150
			実績	64	52	172	-	-
成果指標	1 入館者数	人	目標	3,000	3,000	2,500	2,000	2,500
			実績	2,519	2,518	2,682	-	-
	2 講座参加者数 (H31～貸室使用者数に変更)	人	目標	2,000	2,000	2,500	2,000	2,500
			実績	1,971	2,152	3,384	-	-
各種講座参加者数。H31年度より主催講座廃止により貸室使用者数に変更する。								

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市民生活の原点である共存の心、豊かな感性を育む環境を提供する文化施設は、人間関係の希薄化している現在社会において必要な施設である。		
これまでの見直しや改善等の経過	創作室においては、経費の掛かる主催講座を中止し、市民が利用出来る回数を増やすことで、市民ニーズが上がり、展示室においては、定期的に展示替えを行うほか、他の施設と連携して集客を図っている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市民の文化、芸術に親しめる環境づくりに寄与している。また、美術館の来館者は65%が市外からの来館者であり、観光都市の一翼も担っている。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	創作室の稼働率は良い水準（稼働率44%）であり、貸館利用者も増加し、豊かな市民生活に貢献している。また、三橋節子美術館のテレビ放送があり、来館者が増えています。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	集客のため美術館の定期的な展示替えを行い三橋節子の魅力を発信し、創作室では市民ニーズに適応した効果的な利用を推進している。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	人間愛、親子愛をテーマとしている絵画を鑑賞すること、同じ趣味を持った仲間と集う場所を提供することにより、豊かな感性を育み、潤いのある市民生活を営むことに貢献している。
---------	--	---

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	多くの市民に鑑賞及び創作する場と機会を提供し、豊かな心を持つ人間形成に必要な施設であるため、更なる利用効率を図り、他の公立施設とも連携しながら、文化活動の場として事業の展開を継続する。
部局長コメント	常設展示室の展示替えのほか、フェイスブック活用など多彩な情報発信にも努めており、特に創作スペースの利用促進に繋げているが、更なる費用対効果を図り、歴史博物館や伝統芸能会館などとの回遊型コラボレーション事業等、他の公共施設との連携をしつつ、市民の文化創作活動の場として事業の展開に取り組むこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	83.96 %	83.93 %	107.28 %
	指標2	98.55 %	107.60 %	135.36 %
成果増減率	指標1	- %	-0.03 %	+6.51 %
	指標2	- %	+9.18 %	+57.24 %
活動単位コスト	指標1	10,688 千円	9,677 千円	8,127 千円
	指標2	501 千円	558 千円	141 千円
成果単位コスト	指標1	12 千円	11 千円	9 千円
	指標2	16 千円	13 千円	7 千円
コスト増減率		- %	-13.24 %	-33.87 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	60				
部 局 名	市民部	所 属 名	仰木太鼓会館	所 属 長	馬場 仁
事務事業名	00775 仰木太鼓会館管理運営事業	記 入 者	馬場 仁		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市仰木太鼓会館条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします	関連する個別計画	天津市文化振興ビジョン ・天津市文化振興計画
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	01	文化・芸術の感動・創造・交流		
重事	99	その他			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	仰木太鼓会館管理運営事業費	
事業の概要	仰木太鼓会館は、天津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図り、地域の歴史および文化の理解を深める場として設置されたもので、仰木太鼓の練習や住民の集会等に活用されるよう施設の適正な管理を行っている。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	天津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓の保存と活用を図る場の提供
対象 (何又は誰を)	市民一般
手段 (どのようなやり方で)	施設の適正な管理等、仰木太鼓の練習、住民の集会等のための場所の提供に関する事業を行う
成果 (どのような状態にするのか)	天津市指定無形民俗文化財である仰木太鼓が継承されるとともに、仰木地域の歴史及び文化への理解が深まり、市民文化が向上する

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,300	2,504	2,104	2,096	2,096	
人件費 B		1,426	1,430	1,766	1,859	1,859	
事業費合計 A+B		3,726	3,934	3,870	3,955	3,955	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	56	69	73	50	50	
	一般財源	3,670	3,865	3,797	3,905	3,905	
職員数(人)		0.30	0.30	0.32	0.35	0.35	
職員数の内訳	正規	0.10	0.10	0.15	0.15	0.15	
	嘱託	0.20	0.20	0.17	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.20	0.20	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	施設利用件数	件	目標	270	270	270	200	220
				実績	209	206	159	-	-
	年間利用件数(実績)								
	2	施設利用人数	人	目標	9,500	9,500	9,500	7,000	7,500
実績				7,757	7,042	5,675	-	-	
年間利用人数(実績)									
成果指標	1	年間利用件数率	%	目標	100	100	100	100	100
				実績	77.4	76.2	58.8	-	-
	年間利用件数(実績) ÷ 年間利用件数(目標) × 100								
	2	年間利用人数率	%	目標	100	100	100	100	100
実績				81.6	74.1	59.7	-	-	
年間利用人数(実績) ÷ 年間利用人数(目標) × 100									

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	57	
部 局 名	市民部	所 属 名
事務事業名	00774 伝統芸能会館管理運営事業	所 属 長
		記 入 者
		藤川 義則
		中嶋 純子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市伝統芸能会館条例 第2次大津市文化振興ビジョン、第2次大津市文化振興計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	04	スポーツと文化で、生き生きと楽しむまちにします		
	施策	02	文化・芸術に親しめる環境づくり		
	視点	99	その他		
	重事	99	その他	関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	伝統芸能会館管理運営事業費	
事業の概要	能楽をはじめ邦楽、舞踊並びに茶道、華道その他の伝統芸能に係る創造、練習、鑑賞などを通して、芸能文化の伝承と創造、発信を図っている。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	伝統芸能の普及と啓発のため
対象 (何又は誰を)	利用者を対象に
手段 (どのようなやり方で)	市民の伝統芸能活動の拠点としての施設を充実させ、能や狂言等の自主事業の開催及び市民団体への貸館事業を行うことにより
成果 (どのような状態にするのか)	伝統芸能活動を通じての市民文化を向上させる。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費	A	20,856	18,999	16,652	16,467	16,209	平成19年度指定管理者制度開始
	人件費 B	902	902	913	913	913	
	事業費合計 A+B	21,758	19,901	17,565	17,380	17,122	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	21,758	19,901	17,565	17,380	17,122	
職員数(人)		0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	
職員数の内訳	正規	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	能舞台利用件数	件	目標	300	200	200	150	200
				実績	191	170	147	-	-
	2	和室及び会議室利用件数	件	目標	2,700	1,900	1,900	1,700	1,900
				実績	1,604	1,611	1,419	-	-
成果指標	1	能舞台利用率	%	目標	40	60	60	50	60
				実績	58.4	51.3	45.8	-	-
	2	和室及び会議室利用率	%	目標	70	80	80	60	80
				実績	81.8	81.1	70.2	-	-
		和室及び会議室利用日数÷利用可能日数							

